



学校経営の4つのキーワード

- ①「信頼して、任せて、支える」  
・トラブルを「学び」に変える！

## 第78回 入学式



# 新たな伝統を

4月9日(火)に第78回の入学式を挙行了ました。待望の新校舎もようやく完成し、真新しい制服に身を包んだ1年生の初々しい姿を歓迎しているかのようです。早く中学校生活に慣れて、大津中の新たな伝統を創ってほしいと思います。また、前日の8日(月)には転入された先生方の就任式を行いました。お一人ずつごあいさつをいただいたあと、生徒会長の濱田さんが歓迎の言葉を述べました。転入の先生方とも連携しながら、新たな歴史を刻みたいと考えています。

## 就任式



入学式の校長式辞(一部)をご紹介します。

多くの期待を集めながら発射わずか5秒後に爆発・炎上した「カイロス」について、新聞やテレビは大きく取り上げ、そのほとんどが「打ち上げ失敗」という見出しを付けました。しかしながら、「カイロス」を開発した会社の豊田正和社長は、その後の記者会見で次のように述べました。

「衛星を託したお客様の期待に十分お応えできず、深くお詫び申し上げます。ただ、我々としては今回の件について、『失敗』という言葉は使いません。今回の一つ一つの試みの中に新しいデータや経験が残されています。それら全てを『新しい挑戦』だと捉え、今後もあきらめずに前に進んでいきます」

『失敗』ではなく『新しい挑戦』。この言葉を聞いた時、私はもうすぐ引退される樺島郁夫熊本県知事の言葉を思い出しました。樺島知事が就任以来一貫して言い続けてきたことは、「皿を割ることを恐れるな」ということでした。皿をたくさん洗う人は、どうしても皿を割ることも増えてしまいます。しかし、それを恐れては、皿を洗うことはできなくなってしまいます。割ってもいいから、まずはどんどん皿を洗おうと樺島知事は訴えました。つまり、「皿を割ることを恐れるな」とは、リスクを恐れずにさまざまな課題に前向きに挑戦していこうということです。

私が皆さんに伝えたい最初のメッセージは、「皿を割る覚悟を持ってほしい」ということです。自分がやりたいことにどんどんチャレンジし、たとえうまくいかなかったとしてもそこから今後につながる新たな何かを学び取ってほしい。「私には無理だ」「どうせできない」などははじめから決めつけずに大いに皿を割ってほしい。これから先生方や先輩たちも皆さんの挑戦を一生懸命応援しますので、みんなで新たな大津中学校の伝統を創っていきましょう。